



2003年秋の交通安全運動期間内 JATMA「タイヤ点検結果」の報告

(社)日本自動車タイヤ協会

(社)日本自動車タイヤ協会(会長 片岡善雄)は、都道府県警察・運輸支局、日本道路公団、自動車及びタイヤ関連団体と協力し、2003年秋の交通安全運動期間内(9月21日~30日までの10日間)に全国で7回の路上タイヤ点検を実施し、このほどその結果をまとめましたので、ここに発表致します。

【タイヤ点検結果の概要】

タイヤ点検を行った車両は、高速道路(含、自動車専用道路)248台、一般道路99台の合計347台で、これらの車両のタイヤ整備状況は次の通りです。

なお、本タイヤ点検結果の概要及び前年対比は、別表1~3に示しました。

1. タイヤの整備不良は28.0%

タイヤ点検の結果、表-1の通り、点検車両347台のうち、タイヤに整備不良があった車両は97台、不良率28.0%となっており、前回結果に比べ10.3ポイントの増加となっています。

なお、道路別にみると、高速道路のタイヤ整備不良率は34.7%で11.4ポイントの増加、一般道路は11.1%で前回同様という結果となっています。

表-1 タイヤ点検の概況

項目	年			2003年			参考(2002年)		
	高速道路	一般道路	合計	高速道路	一般道路	合計	高速道路	一般道路	合計
点検回数(回)	5	2	7	6	5	11			
点検車両A(台)	248	99	347	438	368	806			
タイヤ整備不良車両B(台)	86	11	97	102	41	143			
不良率B/A(%)	34.7	11.1	28.0	23.3	11.1	17.7			
対前年増減	11.4	0.0	10.3	-	-	-			

2. 不良項目別ワースト1位は「空気圧不適正」

タイヤの整備状況を項目別にみると表-2の通り、不良率1位は「空気圧不適正」で18.4%、次いで「タイヤ溝不足」4.6%、「偏摩耗」4.0%となっております。

不良率を前回結果と比較すると、「空気圧不適正」は12.1ポイントの増加、「タイヤ溝不足」は1.9ポイントの減少、「偏摩耗」は1.0ポイントの増加となっています。

また、道路別でみた不良率は、前回結果に比べ、高速道路では「タイヤ溝不足」以外の項目は全て増加、一般道路では「タイヤ溝不足」、「外傷」、「釘・異物踏み」が減少、それ以外は増加しております。

表 - 2 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳

年 区分 項目	2003年						対前年増減		
	高速道路 件数	高速道路 %	一般道路 件数	一般道路 %	合 計 件数	合 計 %	高速道路	一般道路	合 計
タイヤ溝不足	14	5.6	2	2.0	16	4.6	-0.1	-5.3	-1.9
偏 摩 耗	10	4.0	4	4.0	14	4.0	0.6	1.6	1.0
外 傷	7	2.8	0	0.0	7	2.0	0.1	-0.8	0.1
釘・異物踏み	6	2.4	0	0.0	6	1.7	2.2	-0.3	1.5
空気圧不適正	62	25.0	2	2.0	64	18.4	14.7	0.4	12.1
そ の 他	4	1.6	3	3.0	7	2.0	0.2	1.9	0.8
計	103	-	11	-	114	-	-	-	-

注) 1 . 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、整備不良車両台数と整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2 . 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。
(空気圧不足 : 62件 空気圧過多 : 2件)

3. 車両グループ別ワースト1位は「乗用車」

タイヤの整備状況を車両グループ別にみると、表-3の通り、不良率ワースト1位は「乗用車」で29.4%(14.4ポイントの増加)次いで「特種車」27.3%(8.2ポイントの減少)「貨物車」23.8%(3.8ポイントの増加)の順となっており、前回結果に比べて「乗用車」「貨物車」の不良率が増加しています。

「乗用車」グループのタイヤ整備状況は、普通乗用36.5%(24.8ポイントの増加)次いで小型乗用30.5%(12.1ポイントの増加)となっています。

また、「貨物車」グループについては、普通貨物30.0%(2.0ポイントの増加)次いで小型貨物22.6%(11.5ポイントの増加)となっています。

表 - 3 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳

車種	点検車両(台)	不良車両(台)	不良率(%)	対前年増減
乗用車	普通乗合(2)	3	0	0.0
	普通乗用(3)	63	23	36.5
	小型乗用(5.7)	141	43	30.5
	軽(8.50)	45	8	17.8
貨物車	小計	252	74	29.4
	普通貨物(1)	40	12	30.0
	小型貨物(4)	31	7	22.6
	軽(6.40)	13	1	7.7
特種車	小計	84	20	23.8
	特種(8)	11	3	27.3
	合計	347	97	28.0
				10.3

注) ()内数字は、車種ナンバーを示す。

4. 車両グループ別・項目別ワースト1位は乗用車：「空気圧不適正」、貨物車：「タイヤ溝不足」

車両グループ別・項目別のワースト1位は、表-4の通り乗用車グループでは「空気圧不適正」で22.2%、貨物車は「タイヤ溝不足」で13.1%となっています。

特種車は「タイヤ溝不足」、「釘・異物踏み」、「空気圧不適正」がそれぞれ1件(9.1%)となっています。

表-4 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳

車種	項目		タイヤ溝不足		偏摩耗		外傷		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%		
乗用車	普通乗合(2)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	普通乗用(3)	2	3.2	2	3.2	2	3.2	1	1.6	17	27.0	2	3.2	26		
	小型乗用(5.7)	1	0.7	7	5.0	2	1.4	1	0.7	34	24.1	3	2.1	48		
	軽(8.50)	1	2.2	1	2.2	0	0.0	0	0.0	5	11.1	1	2.2	8		
貨物車	小計	4	1.6	10	4.0	4	1.6	2	0.8	56	22.2	6	2.4	82		
	普通貨物(1)	9	22.5	3	7.5	3	7.5	3	7.5	1	2.5	0	0.0	19		
	小型貨物(4)	2	6.5	1	3.2	0	0.0	0	0.0	6	19.4	0	0.0	9		
	軽(6.40)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.7	1		
特種車	小計	11	13.1	4	4.8	3	3.6	3	3.6	7	8.3	1	1.2	29		
	特種(8)	1	9.1	0	0.0	0	0.0	1	9.1	1	9.1	0	0.0	3		
	合計	16	4.6	14	4.0	7	2.0	6	1.7	64	18.4	7	2.0	114		

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、整備不良車両台数と整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。
(空気圧不足: 62件 空気圧過多: 2件)

[まとめ]

今回の点検結果をみるとタイヤ整備不良率の上位項目は依然として「空気圧不適正(空気圧不足)」「タイヤ溝不足」「偏摩耗」で形成される傾向にあるため、当会としては、今後も引き続きタイヤ点検の実施、「タイヤ安全ニュース」の制作、高速道路架橋への「タイヤの空気圧不足は危険です!」横断幕の掲出、リーフレット配布等、安全啓発活動を行っていくこととしています。

以上

本件に関するお問い合わせ先
技術部 検査事故防担当 大高、時田
TEL:03-3435-9092

1. 2003年 秋の全国交通安全運動路上タイヤ点検結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

点検項目 年別 道路別	2002年(秋)						2003年(秋)					
	高速道路	一般道路	計	高速道路		対前年増減	一般道路		計	対前年増減		
点検回数(回)	6	5	11	5	-1	2	-3	7	-4			
点検車両A(台)	438	368	806	248	-190	99	-269	347	-459			
タイヤ整備不良車両B(台)	102	41	143	86	-16	11	-30	97	-46			
不良率B/A(%)	23.3	11.1	17.7	34.7	11.4	11.1	0.0	28.0	10.3			
件数・不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	
						% 増減				% 増減		
タイヤ整備不良の内訳	タイヤ溝不足	25	5.7	27	7.3	52	6.5	14	5.6	-0.1	2	2.0
	偏摩耗	15	3.4	9	2.4	24	3.0	10	4.0	0.6	4	4.0
	外傷(コードに達するもの)	12	2.7	3	0.8	15	1.9	7	2.8	0.1	0	0.0
	釘・異物踏み	1	0.2	1	0.3	2	0.2	6	2.4	2.2	0	0.0
	空気圧不適正	45	10.3	6	1.6	51	6.3	62	25.0	14.7	2	2.0
	その他	6	1.4	4	1.1	10	1.2	4	1.6	0.2	3	3.0
	計	104	-	50	-	154	-	103	-	-	11	-
											114	-
												-

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」／「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(空気圧不足：62件 空気圧過多：2件)

2. 2003年 秋の全国交通安全運動路上タイヤ点検・車種別項目別結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目 車種No.	点検車両 (A)	タイヤ整備 不良車両 (B)	不良率 (%) (B/A)	タイヤ整備不良の項目内訳												計	
					タイヤ溝不足		偏摩耗		外傷 (コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他			
					件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率		
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	53	23	43.4	2	3.8	2	3.8	2	3.8	1	1.9	17	32.1	2	3.8	26
		小型乗用(5.7)	103	38	36.9	0	0.0	5	4.9	2	1.9	1	1.0	33	32.0	2	1.9	43
		軽(8.50)	23	6	26.1	1	4.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	21.7	0	0.0	6
		計	182	67	36.8	3	1.6	7	3.8	4	2.2	2	1.1	55	30.2	4	2.2	75
	貨物車	普通貨物(1)	39	11	28.2	9	23.1	2	5.1	3	7.7	3	7.7	1	2.6	0	0.0	18
		小型貨物(4)	18	6	33.3	1	5.6	1	5.6	0	0.0	0	0.0	6	33.3	0	0.0	8
		軽(6.40)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		計	57	17	29.8	10	17.5	3	5.3	3	5.3	3	5.3	7	12.3	0	0.0	26
	特種(8)	9	2	22.2	1	11.1	0	0.0	0	0.0	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	2
	回	合計	248	86	34.7	14	5.6	10	4.0	7	2.8	6	2.4	62	25.0	4	1.6	103
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	10	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		小型乗用(5.7)	38	5	13.2	1	2.6	2	5.3	0	0.0	0	0.0	1	2.6	1	2.6	5
		軽(8.50)	22	2	9.1	0	0.0	1	4.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.5	2
		計	70	7	10.0	1	1.4	3	4.3	0	0.0	0	0.0	1	1.4	2	2.9	7
	貨物車	普通貨物(1)	1	1	100.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		小型貨物(4)	13	1	7.7	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		軽(6.40)	13	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.7	1
		計	27	3	11.1	1	3.7	1	3.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.7	3
	特種(8)	2	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	
	回	合計	99	11	11.1	2	2.0	4	4.0	0	0.0	0	0.0	2	2.0	3	3.0	11
合計	乗用車	普通乗合(2)	3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	63	23	36.5	2	3.2	2	3.2	2	3.2	1	1.6	17	27.0	2	3.2	26
		小型乗用(5.7)	141	43	30.5	1	0.7	7	5.0	2	1.4	1	0.7	34	24.1	3	2.1	48
		軽(8.50)	45	8	17.8	1	2.2	1	2.2	0	0.0	0	0.0	5	11.1	1	2.2	8
		計	252	74	29.4	4	1.6	10	4.0	4	1.6	2	0.8	56	22.2	6	2.4	82
	貨物車	普通貨物(1)	40	12	30.0	9	22.5	3	7.5	3	7.5	3	7.5	1	2.5	0	0.0	19
		小型貨物(4)	31	7	22.6	2	6.5	1	3.2	0	0.0	0	0.0	6	19.4	0	0.0	9
		軽(6.40)	13	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.7	1
		計	84	20	23.8	11	13.1	4	4.8	3	3.6	3	3.6	7	8.3	1	1.2	29
	特種(8)	11	3	27.3	1	9.1	0	0.0	0	0.0	1	9.1	1	9.1	0	0.0	3	
	回	合計	347	97	28.0	16	4.6	14	4.0	7	2.0	6	1.7	64	18.4	7	2.0	114

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(空気圧不足：62件 空気圧過多：2件)

3.2002年、2003年 秋の全国交通安全運動路上タイヤ点検不良項目別結果比較

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目 車種NO.	点検車両中の タイヤ整備不良		タイヤ整備不良の項目内訳																			
				タイヤ溝不足			偏摩耗			外傷 (コードに達するもの)			釘異物踏み			空気圧不適正			その他				
		02年	03年	増減	02年	03年	増減	02年	03年	増減	02年	03年	増減	02年	03年	増減	02年	03年	増減	02年	03年	増減	
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		普通乗用(3)	17.3	43.4	26.1	1.3	3.8	2.5	1.3	3.8	2.5	0.0	3.8	3.8	0.0	1.9	1.9	16.0	32.1	16.1	0.0	3.8	3.8
		小型乗用(5.7)	25.4	36.9	11.5	5.8	0.0	-5.8	2.3	4.9	2.6	4.0	1.9	-2.1	0.0	1.0	1.0	15.0	32.0	17.0	2.3	1.9	-0.4
		軽(8.50)	40.0	26.1	-13.9	10.0	4.3	-5.7	10.0	0.0	-10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	21.7	1.7	0.0	0.0	0.0
		計	23.6	36.8	13.2	4.6	1.6	-3.0	2.3	3.8	1.5	2.7	2.2	-0.5	0.0	1.1	1.1	15.4	30.2	14.8	1.5	2.2	0.7
	貨物車	普通貨物(1)	32.9	28.2	-4.7	9.8	23.1	13.3	6.1	5.1	-1.0	3.7	7.7	4.0	1.2	7.7	6.5	0.0	2.6	2.6	1.2	0.0	-1.2
		小型貨物(4)	9.7	33.3	23.6	2.8	5.6	2.8	0.0	5.6	5.6	1.4	0.0	-1.4	0.0	0.0	0.0	6.9	33.3	26.4	1.4	0.0	-1.4
		軽(6.40)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		計	21.9	29.8	7.9	6.5	17.5	11.0	3.2	5.3	2.1	2.6	5.3	2.7	0.6	5.3	4.7	3.2	12.3	9.1	1.3	0.0	-1.3
		特種(8)	29.2	22.2	-7.0	12.5	11.1	-1.4	16.7	0.0	-16.7	4.2	0.0	-4.2	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計		23.3	34.7	11.4	5.7	5.6	-0.1	3.4	4.0	0.6	2.7	2.8	0.1	0.2	2.4	2.2	10.3	25.0	14.7	1.4	1.6	0.2
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		小型乗用(5.7)	4.5	13.2	8.7	1.1	2.6	1.5	2.3	5.3	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	1.1	2.6	1.5
		軽(8.50)	5.2	9.1	3.9	2.6	0.0	-2.6	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	-2.6	0.0	4.5
		計	4.0	10.0	6.0	1.5	1.4	-0.1	1.0	4.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.4	0.4	0.5	2.9	2.4
	貨物車	普通貨物(1)	12.0	100.0	88.0	0.0	0.0	0.0	4.0	100.0	96.0	8.0	0.0	-8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		小型貨物(4)	13.0	7.7	-5.3	13.0	7.7	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		軽(6.40)	23.5	7.7	-15.8	16.0	0.0	-16.0	6.2	0.0	-6.2	1.2	0.0	-1.2	1.2	0.0	-1.2	4.9	0.0	-4.9	3.7	7.7	4.0
		計	18.1	11.1	-7.0	12.5	3.7	-8.8	3.8	3.7	-0.1	1.9	0.0	-1.9	0.6	0.0	-0.6	2.5	0.0	-2.5	1.9	3.7	1.8
		特種(8)	57.1	50.0	-7.1	57.1	0.0	-57.1	14.3	0.0	-14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計		11.1	11.1	0.0	7.3	2.0	-5.3	2.4	4.0	1.6	0.8	0.0	-0.8	0.3	0.0	-0.3	1.6	2.0	0.4	1.1	3.0	1.9
合 計	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	11.7	36.5	24.8	0.9	3.2	2.3	0.9	3.2	2.3	0.0	3.2	3.2	0.0	1.6	1.6	10.8	27.0	16.2	0.0	3.2	3.2
		小型乗用(5.7)	18.4	30.5	12.1	4.2	0.7	-3.5	2.3	5.0	2.7	2.7	1.4	-1.3	0.0	0.7	0.7	10.0	24.1	14.1	1.9	2.1	0.2
		軽(8.50)	9.2	17.8	8.6	3.4	2.2	-1.2	1.1	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	11.1	6.5	0.0	2.2	2.2
		計	15.0	29.4	14.4	3.3	1.6	-1.7	1.7	4.0	2.3	1.5	1.6	0.1	0.0	0.8	0.8	9.1	22.2	13.1	1.1	2.4	1.3
	貨物車	普通貨物(1)	28.0	30.0	2.0	7.5	22.5	15.0	5.6	7.5	1.9	4.7	7.5	2.8	0.9	7.5	6.6	0.0	2.5	2.5	0.9	0.0	-0.9
		小型貨物(4)	11.1	22.6	11.5	7.1	6.5	-0.6	0.0	3.2	3.2	0.8	0.0	-0.8	0.0	0.0	0.0	4.0	19.4	15.4	0.8	0.0	-0.8
		軽(6.40)	23.2	7.7	-15.5	15.9	0.0	-15.9	6.1	0.0	-6.1	1.2	0.0	-1.2	1.2	0.0	-1.2	4.9	0.0	-4.9	3.7	7.7	4.0
		計	20.0	23.8	3.8	9.5	13.1	3.6	3.5	4.8	1.3	2.2	3.6	1.4	0.6	3.6	3.0	2.9	8.3	5.4	1.6	1.2	-0.4
		特種(8)	35.5	27.3	-8.2	22.6	9.1	-13.5	16.1	0.0	-16.1	3.2	0.0	-3.2	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
	合計		17.7	28.0	10.3	6.5	4.6	-1.9	3.0	4.0	1.0	1.9	2.0	0.1	0.2	1.7	1.5	6.3	18.4	12.1	1.2	2.0	0.8

注)1.1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2.不良率:「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3.高速道路とは自動車専用道路を含む。